

## 親水空間等の整備・創出

事例名	6. 自然石防浪工
工事名	白浜地区自然災害防止工事
施行場所	南高来郡口之津町白浜海岸
事業年度	平成15年度
実施機関	島原振興局農林部林務課
適応可能な事業	治山、林道、漁港、道路、河川、公園等

### <具体的な環境配慮内容>

海岸防風林の脚部の浸食防止のため、自然石による防浪工を施工し、砂地の移動防止のため海岸砂草として「ハマゴウ」を植栽した。又防浪工の背面には植栽木を強風から保護するため、間伐材を利用した防風工を設置した。

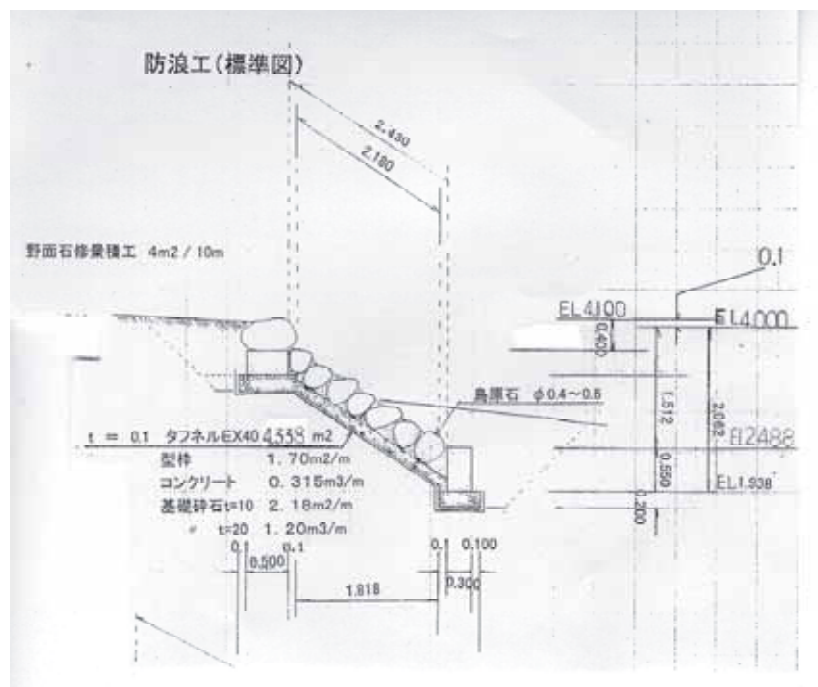
### <環境配慮の目的と視点>

当海岸は、白砂青松の美しい砂浜で利用者が多く、貴重なウミガメの産卵地でもあるため、利用者の快適性や海洋性動物の保護について配慮する必要がある。

### <環境配慮技術の概要>

防浪工は利用者の利便性を考慮して緩勾配とし、その前面の砂草は、基礎の洗掘防止や砂の移動を防止するため、海岸砂地の生育に適し、砂面の固定機能の高いものを選定する必要がある。又防浪工の背面の造成地には植栽を行い、環境に優しい防風工（木材等）により強風を緩和させ、植栽木の生育障害を受けないよう配慮する必要がある。





#### < 環境配慮による効果 >

将来は砂浜と防風林が一体となり、利用者に対して違和感を感じさせない自然景観を形成することになる。また、ウミガメの生息にも配慮したことにより「自然学習の場」としても今後も利用される。





< 課題等 >

防浪工の設置に当たっては、異常な波浪等により脚部が破壊されないように、適切な位置、方向及び高さを決定する必要がある。防浪工の前面に植栽した砂草が砂地の移動を防止するためには数年を要する。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関
野田浜地区生活環境保全林整備工事	島原振興局農林部林務課